記入例（除外）

（様式）

年 月 日

農用地利用計画変更申出書

日南市長 様

申出者（事業計画者）	
氏名	株式会社〇〇〇〇 代表取締役 △△ △△
住所	〒000-0000 日南市〇〇
電話番号	090-XXX-XXXX

農用地利用計画の変更について、下記のとおり、関係書類を添えて申出します。

記

1 申出区分（該当する区分にレ点）

農用地区域への編入 農用地区域からの除外 用途区分の変更

2 対象となる土地の状況

土地の所在・地番	面積（㎡）	登記地目	地権者
日南市〇〇〇〇 6-1	100	田	□□ □□
日南市〇〇〇〇 7-1の一部	500のうち200	田	□□ □□

※欄が不足する場合は、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。

3 農用地利用計画の変更が必要な理由（具体的な事業の内容）

例1 近隣で農業を営むため、当該地に農家住宅を建設する。

例2 近隣で〇〇事業を行っているが、事業拡大に伴い、施設の増設を当該地で行う必要がある。

例3 本市の〇〇計画による整備事業の一環として、本計画に基づき事業計画が採択された〇〇施設を立地する。

4 土地の選定理由

例1 農用地区域以外に所有する土地はなく、当該地は周辺農地での農作業に支障を与えないため、選定した。

例2 新たに整備する〇〇は、既存施設である〇〇と一体的に活用するものであり、効率的に事業を行うためには既存事業地と隣接した当該地に整備する必要がある。

5 代替地の検討

土地の所在・地番	面積（㎡）	登記地目	地権者	検討結果
日南市〇〇〇〇 9-3	100	田	□□ □□	地権者が譲渡の意向なし
日南市〇〇〇〇 8-1	300	田	□□ □□	地権者が譲渡の意向なし

※ 農振除外の要件の一つに、当該地以外の土地をもって代えることが困難であることとあります。自己所有地以外での検討も必要であるため、代替性がない理由として、自己所有地であることや当該地の土地が安価である。などは適当ではありません。